

# 被災地支援等に係る倉敷子どもミーティング

令和5年12月に実施した倉敷子どもミーティングに参加した生徒から、能登半島地震の現状を受け、「被災地の現状を知り、私たちの災害に対する意識を高めることはできないか」また、「倉敷市の学校で、被災地のために何かできることはないだろうか」等の内容について、倉敷子どもミーティングで検討できないかとの提案がありました。そこで、一人一台端末を使って、市内有志中学生によるオンラインでのミーティングを開き、2つのテーマについて議論しました。

## オンライン子どもミーティングの様子

テーマ①「私たちの災害に対する意識を高めることはできないか」

テーマ②「被災地のために何かできることはないだろうか」

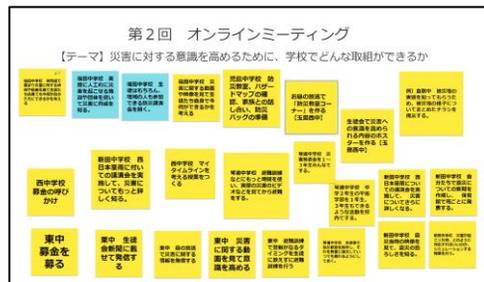
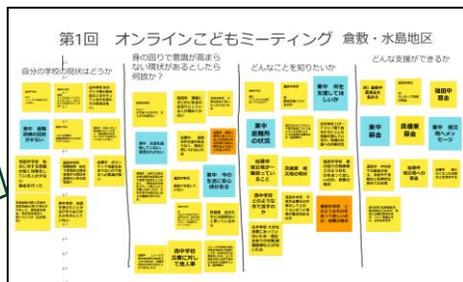


オンラインでの話合いの様子

オンライン子どもミーティングには倉敷市内の中学生34名が参加しました。それぞれの学校から、Googleクラスの「Meet」を使って会議に参加し、とても熱心に意見の交流をすることができました。



各学校で話し合った意見はGoogleクラスの「Jamboard」で提出することで、学校間で共有することができました。



### 第1回 オンラインミーティング 令和6年2月8日(木) 16:15~17:00

「第1回オンラインミーティング」では、災害に対する意識が高まらない現状について、自分の身の回りはどうか、また、意識が高まらない現状があるとすれば何故かなど、まずは、現状について把握することから始まりました。「災害を他人事と捉えている。」「どうしたら自分事として考えることができるか」という課題をもち、第2回のミーティングにつなげていきました。また、被災地への支援についても様々な意見が出てきましたが、被災地のニーズに合った支援を行うことが大切だという意見が出てきました。

### 第2回 オンラインミーティング 令和6年2月22日(木) 16:15~17:00

「第2回オンラインミーティング」では、災害に対する意識を高めるために学校で何ができるか意見を交流しました。「昼の放送で災害コーナーを作り情報を発信する」「生徒会と連携し新聞で情報発信をする」「災害講演会を計画する」など各学校の実態に合った意見がたくさん出てきました。また、被災地の支援については、現地のニーズを調べ、義援金を呼び掛けることとしました。



今回のミーティングをきっかけに、倉敷市の子どもたちの災害に対する意識の向上につながっていくことを願っています！